

くまもとアートポリス・プロジェクト・マップ

熊本県内各地に建設・計画された
くまもとアートポリスの建築や施設（1994年12月現在）。
現在49のプロジェクトが竣工・進行中、
各地のまちづくりや文化交流の拠点になっています。



撮影：古館克明
オープンした天草ビジターセンター・天草展望休憩所

- 第7回「くまもとアートポリスシンポジウム」報告
- 進行プロジェクト・レポート
- 天草ビジターセンター・展望休憩所、天草工業高校実習棟、不知火町文化プラザ、熊本北警察署坪井交番
- アートポリスを考える会事務所開設へ
- くまもとアートポリス・ツアーガイド

くまもとアートポリスニュース第14号
1995年1月発行
●発行——くまもとアートポリス事務局
熊本県土木建築課内 熊本市水前寺6-18-1
tel 096-383-1111 (内線6215)
fax 096-384-9820
●編集——くまもとアートポリスコミッショナー事務局
東京都渋谷区渋谷2-4-7 YK青山ビル
建築・都市ワークショップ内
tel 03-3407-4753 fax 03-3407-8753



第7回「くまもとアートポリス シンポジウム」報告

いまや地域の住民がアートポリスに関わり、積極的にまちづくりに取り組んできている。このことを実感させるシンポジウムを、紅葉の盛り1994年11月11日、阿蘇郡蘇陽町の町立蘇陽中学校馬見原分校の体育館で開催した。今回のシンポジウムのテーマは「橋は地域のシンボルとなりうるか」。会場には地域住民や蘇陽高校の生徒を含め、約600名が詰めかけ、蘇陽町の「馬見原橋」と小国町の「杖立橋」のふたつのくまもとアートポリス参加プロジェクトを題材に、パネリスト、会場からの参加者も含めて、橋を中心にした地域活性化の在り方を話し合った。この意義深い対話の内容をレポートしよう。



シンポジウムに先立ち、蘇陽町の有働町長は、馬見原橋の歴史を振り返りながら「新しい橋が、宿場町として町が再生するきっかけになることを期待している」と挨拶された。

青木淳氏の講演 （「馬見原橋」担当建築家）

シンポジウム・第1部ではまず、蘇陽町の馬見原橋を担当した建築家の青木氏が『宿場町と橋』と題し講演した。青木氏は「交通のかなめに位置した宿場町に、どのような橋をつくるか。ただ、歴史的なものを復元するだけでなく、現代的なものとも組み合わせることはできないか考えた」と創造の原点を紹介。



歴史的なものを復元するだけでなく、現代的なものとも組み合わせることはできないか。

青木淳／あおきじゅん／建築家／1956年神奈川県生まれ／1980年東京大学工学部建築学科卒業／1982年同大学修士課程修了／1983年-1990年磯崎新アトリエ勤務／1991年青木淳建築計画事務所設立／1994年関東学院大学非常勤講師●主な作品「ステーションズ STATIONS」[H(エイチ)] [T(ティーン)]「垂直動線体(奥只見レクリエーション都市公園小出地区)」[福島潟自然生態園]◆1994年平成5年度東京建築士会住宅賞

岩国の太鼓橋や東海道五十三次に登場する橋、あるいはアビニオン橋などを例に示しながら「橋の上弦は車も通る普通の橋だが、下は人が生活の中ですれちがったり、たたずんだりできる橋としたかった。また、人を少しでも水に近付けるため、下弦に丸い穴を開け、釣りでもできるようにした」と、その設計意図を説明した。

新井清一氏の講演 （「杖立橋」担当建築家）

杖立橋を設計した新井氏は「橋とランドスケープ」と題し講演。杖立は、川を挟んで両側が崖という細長い町で、そこに3本の橋が直角の流れを与えていると、土地の特性を



建築家にできることは次の世代に一粒の種を残すこと。繁栄させていくのは、地元の熱意。

新井清一／あらいきよかず／建築家／1950年神奈川県生まれ／1972年中央大学商学部卒業／1980年SCI-ARC(南カリフォルニア建築大学)卒業／1981-91年モーフォシス・アーキテクト役員／1983年SCI-ARC修士課程修了／1985年同大学教授／1991年アライ・アーキテクト開設／1992年関東学院大学非常勤講師／1994年東海大学・芝浦工業大学非常勤講師●主な作品「塚本部」「丸山邸」「東麻布オフィスビル」「千葉ゴルフクラブハウス」

解説。3本の橋の中心に位置する杖立橋は、上からも下からも横からも見ることができる「空中に浮かぶオブジェのようなもの」。だからこそ「建物から橋が飛び出し、橋が建物に吸い込まれるようにつくりたい」。そこで、橋と一緒に契約になかった建物を「橋の起点となり溜れる場所」として町に提案したぞうだ。さらに「デッドスペースになりそうな橋詰の空地についても所有者と相談中」ともいう。約3年間、杖立に関わり続け、何度も苦しい時期があったが「建築家にできることは、次の世代に一粒の種を残すことだ。それを繁栄させていくのは、地元の熱意だ」と、会場の参加者に熱いメッセージを送った。



橋は数十年存在し続けるもの、設計者と話し合い、理解することが重要だ。

久野啓介／ひさのけいすけ／熊本日日新聞社論説委員長／1936年熊本県生まれ／1960年熊本大学文学部卒業／熊本日日新聞社入社／文化放送部長、編集局長などを経て現在に至る

馬見原橋

設計者 青木淳+中央技術コンサルタンツ
所在地 阿蘇郡蘇陽町
宿場町として栄えた山あいの街道筋に架かる橋の架け替え。
橋桁を上弦と下弦に分割し、その間を柱でつないだ。上弦が歩道兼用であるのに対し、下弦を歩行者専用の通路、そして水面を覗ける穴の穿たれた広場にする事により、橋本来の渡るといふ機能のほか、さまざまな過ごし方を楽しめる憩いの場所となるよう計画している。

●データ
主な用途 橋
事業主体 蘇陽町
構造設計 中央技術コンサルタンツ
施工 下部工事：飯干建設、上部工事：石川島播磨重工業
延長 38.25m
幅員 上部：4.8m、下部6.75m
構造 変形フィレンツェ鋼橋
工事期間 1994年10月24日～1995年3月25日



パネルディスカッション

第2部のパネルディスカッションでは、まず、コーディネーターの久野啓介氏が「橋は数十年存在し続けるものであり、設計者と話し合い、理解することが重要だ」と口火を切った。蘇陽町商工会の理事を3期務める中原秀人氏は「新しい馬見原橋は世界的にも珍しい2段橋であり、観光資源となり得る。馬見原の過疎化を脱却する起爆材にしたい」と期待を表明。そのうえで、河川敷の公園化や昔あった芝居小屋・花園座の復活などを提唱。疑問点として(1)橋の色彩、(2)下弦の穴の意味、(3)橋のライトアップについて、設計者の青木氏に質問した。



新馬見原橋は世界的に珍しい2段橋。この観光資源で過疎化脱却の起爆材にしたい。

中原秀人／なかはらひと／馬見原商工会理事／1940年熊本県生まれ／1959年熊本県立熊本高等学校卒業／現在中原鮮魚代表●主な活動「蘇陽町消防団」元副団長／「蘇陽町ライオンズクラブ」会長／「ボランティアクラブ満天星会」会長／蘇陽町商工会理事●「宿場町をイメージした魅力ある街づくり委員会」を務めるなど蘇陽町のまちづくり運動に取り組んでいる

これに対し青木氏は、新しい橋が「視覚的に目立つくモニュメント」としてではなく、住んでいる人々の心に育っていくようなシンボルとなれば」と語り、色彩に関しては目立つ色ではなく生活の背景となるような黒っぽい色、ライトアップに対しては穴を通して照明を川面に落とすなど、目立たせるよりこの場でしかできない照明とすべきだと指摘した。河川敷の公園化については「素晴らしいアイデアだが、自然の環境をうまく使うことを



この橋で杖立が元気を取り戻し、杖立をさらに人の集う交流の場にしていきたい。

伊澤見純子／いづみじゅんこ／OGUNIヴィーナスの会代表／1955年熊本県小国町生まれ／高校卒業後熊本市内で5年間OL生活／1984年喫茶店「じゅん」オープン／1988年「OGUNIヴィーナスの会」結成／1989年「杖立べっぴん会」結成●主な活動「杖立べっぴん会」企画担当◆「毎日を楽しく、仲間と共に過ごせる」そんな小国の町をつくらうと活動中



馬見原橋の敷地周辺

考えてみたらどうか」。穴の意味については「日常的に、穴から川を覗き込むという体験ができる。祭りの時は穴にフタをして観客席にすることもできる」と述べた。小国町の伊津見純子氏は「小さい頃



橋のような社会基盤はあくまで道具。住民がいかに使うかが大事です。

嶋元達郎／さきもとたつろう／熊本大学工学部教授／1967年大阪大学工学部建築工学科卒業／1972年同大学院博士課程単位取得退学、同大学助手／1973年熊本大学工学部講師／1984年熊本大学工学部教授●主な活動「土木橋造物の強度と設計法に関する研究」／「新形式橋梁の開発に関する研究」／土木学会賞選考委員／九州橋梁構造工学研究会運営委員長◆1984年土木学会賞

杖立橋

設計者 新井清一

所在地 阿蘇郡小国町

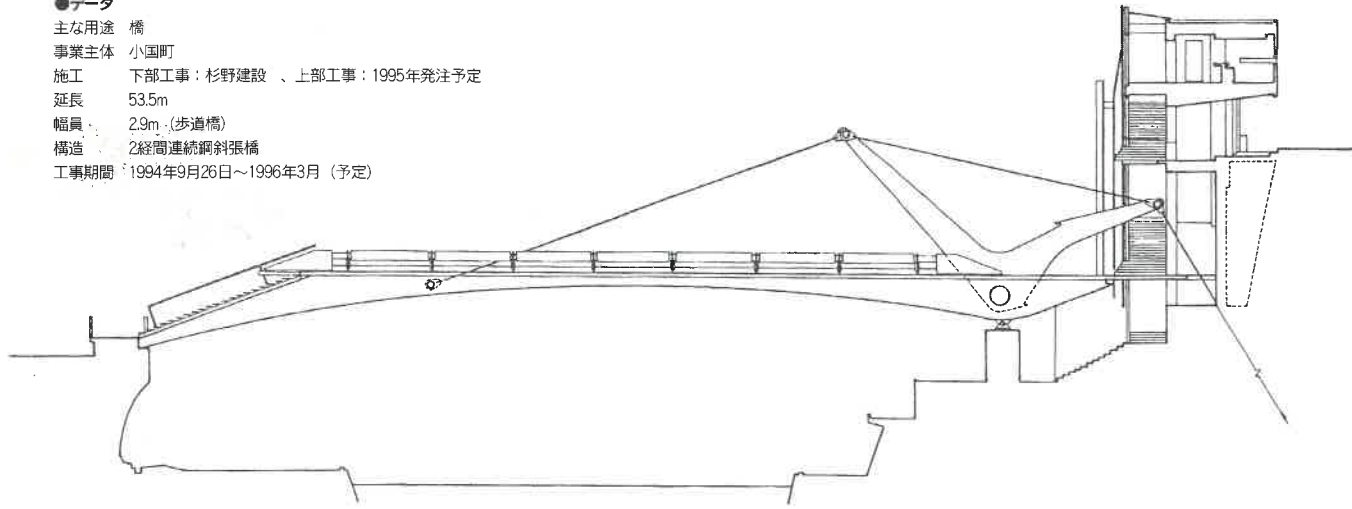
温泉街の中心にある歩道橋の老朽化による架け替え。

一方の橋を支点とし、反対側の端をケーブルで引っ張り上げる独特な構造の橋。

橋と国道を結ぶために設けられた階段室、広場やテラスや憩いの場とできる空間の入った建築もこの橋に連なるものとして計画されている。

●データ

主な用途 橋
事業主体 小国町
施工 下部工事：杉野建設、上部工事：1995年発注予定
延長 53.5m
幅員 2.9m(歩道橋)
構造 2線連続鋼斜張橋
工事期間 1994年9月26日～1996年3月(予定)



4 から目の前の杖立橋とともに暮らしてきた。小国には一連の素晴らしい木造建築群があるが、新しい杖立橋の模型を見たとき、木造の「ゆうステーション」に出会った時と同じくらいの衝撃を感じた。杖立は往時の活気をなくしつつあったが、この橋を機会に元気を取り戻し、杖立をさらに人の集う交流の場にしていきたい。ここが小国の若者達のデートコースになれば」と新しい橋への期待を語った。

杖立再興の起爆材に期待のかかる新井氏は「昨年のがけ崩れの時、たまたま私も杖立にいて町の人たちと避難し、一緒に被災者用のおにぎりを食べた。それだけに、住んでいる人達の心情が胸に響いた。しかし、その後訪れてみると、再興にみんな情熱を燃していた。まちづくりへの情熱も、人との交流も、原点は人だ」と強調した。

アドバイザーの崎元教授は、馬見原橋と杖立橋の違いを分析。「馬見原橋の周辺環境が自然であるのに対し杖立は温泉街であり、前者は見られることが少ないのに後者は多い、利用者は前者は住民(日常)であるのに対し後者は観光客(非日常)」と

それぞれの特性を紹介した。

会場からの参加

今回のシンポジウムの特徴は、会場からの質問が相次いだこと。

「新しい橋の完成を機会に、観光開発のひとつとして通潤橋など周辺の美しい橋を巡るツアーを企画したらどうか」といった新たな観光資源としての期待から、「アートポリスは完成後も指導してもらえるのか」「自分たちの町にも古い商家がある。アートポリスで指定してもらえないか」といったアートポリスと自分たちのまちづくりとの接点に関わる問題まで、幅広く登場した。

観光資源としての期待感は、アートポリスに参加し一躍有名となった隣村の清和村文楽館の賑わいを目の当たりにしているだけに、正直な気持ちの現われだろう。それよりも大きな成果だったのは、住民がすでに、アートポリスを自分達のまちづくりにはっきりと位置づけていることが



会場からも活発に意見や質問が出された

明らかになったことである。「アートポリスをまちづくりの推進役に」というアートポリスの狙いは、建築家と住民との対話を繰り返すことにより、着実に住民に浸透している。今シンポジウムは、そのことを痛感させる絶好の機会となった。

報告：高瀬隆三郎(エアリアル)

シンポジウム・プログラム

挨拶：福岡謙二(熊本県知事)代理、梅野捷一郎(建設省住宅局長)代理、有働一人(蘇陽町長)

第1部：プロジェクト紹介

青木淳(馬見原橋担当建築家)「宿場街と橋」

新井清一(杖立橋担当建築家)「橋とランドスケープ」

第2部：パネルディスカッション

パネリスト：青木淳、新井清一、中原秀人(馬見原商工会理事)、伊津見純子(OGUNI ヴィーナスの会代表) アドバイザー：崎元達郎(熊本大学工学部教授)、コーディネーター：久野賢介(熊本日日新聞社論説委員長)

天草観光の拠点—— 天草ビジターセンター・天草展望休憩所が オープン。見学会が開催された。



見学会のパーティーで

天草ビジターセンター・天草展望休憩所のオープンにともなって、地元の住民や全国の建築家に向けた見学会が、秋も深まりはじめた10月29日に行なわれた。

設計者の古谷誠章氏の呼びかけに、地元・松島町の田中義男企画観光課長を初め、役場の職員や住民、そして東京からアートポリス参加建築家の藤江和子氏や写真家の古舘克明氏、広島から建築家の岩本秀三氏、四国から建築家の多田善明氏、さらに熊本大学講師で建築家の桂英昭氏など、総勢60名近くが駆けつけた。

参加者は秋の夕暮れのなか、一望に広がる天草の絶景と、海に向かって心を開いた建築とが織りなす見事な調和とコントラストを存分に楽しんだ。

施設は、山の稜線に合わせて切妻屋根の棟線を形成。一方、平面形は敷地に合わせており、斜めに棟線が通る形となっている。従って、ふたつの建物の両端で軒の高さが異なる。高い方が展示空間、低い方が休憩コーナーである。また、南側を徹底的にガラス面とし大きく海へ開いているのも特徴。国道側からアプローチして来ると両側の山の緑、地元産の石や豆砂利を配したコンクリート外壁が視界を遮っている

だけに、坂を上り切った時の感激は大きい。なにしろ、海と小島が奏でる天草独特のパノラマが、眼前にゆったりと広がっているのだ。

当日は見学会の後、和やかなパーティとなった。設計者の古谷氏が「お世話になった皆様へのお礼に」とイタリアのワインを大量に持ち込めば、松島町の田中課長も「ここでワインをいただくのが計画当初からの夢でした」と応じ、一同で乾杯した。

5 施工を手掛けた山口工務店の大見弘美課長に話を聞くと「図面を見たときは、どうしたらいいか、さっぱりわからなかった」そうだ。特に、軒の高さの変化によるサッシ納まりの難しさなどには頭を悩ませたらしい。「でも技術的にも大変に勉強になりました」と顔をほころばせた。アートポリスはデザイン面だけでなく、「技術」の面でも地元深く根を下ろした。



撮影：古舘克明

外部の造形が自然と一体化する

アートポリスプロジェクト竣工

天草ビジターセンター・天草展望休憩所

Amakusa Visitor's Centre, Service House

設計者 古谷誠章+中川建築設計事務所

所在地 天草郡松島町永浦島

●交通

熊本交通センターから産交バス本渡行き快速で約100分「樋合入口」下車徒歩100m熊本空港から産交バス本渡行きリムジンバスで約140分「樋合入口」下車徒歩100m

●データ

主な用途 展示施設、無料休憩所
 事業主体 ビジターセンター：熊本県
 展望休憩所：松島町
 構造設計 裕建築事務所
 設備設計 弦設備設計事務所、小路設備設計事務所
 施工 建築：山口工務店、渡辺建設(WC)
 電気：鶴電気設備工業所、西本電機
 衛生：天草設備、西山電設
 空調：西本電機
 浄化槽：ニッシン工業

6 面積 敷地11,410.50m²/建築面積497.16m² (VC)、263.97m²(SH) / 延床面積427.43m² (VC)、227.09m² (SH)

規模 地上1階
 構造 鉄筋コンクリート造+鉄骨造+木造

主な仕上 屋根：カラーステンレス瓦棒葺+特殊非加硫ゴム付カラーステンレス文字葺/外壁：化粧コンクリート打放、一部合津石貼り/床：地元産石埋込、地元産豆砂利洗出し/壁：コンクリート打放、一部合津石貼り/天井：岩綿吸音板

工事期間 1993年11月～1994年7月



展示棟を見る

ビジターセンターと展望休憩所のふたつの施設がふたつの棟にわかれる。つまり雲仙天草国立公園の紹介のための棟と来館者のためのティラウンジ、物産ショップの棟である。
 床や壁の材料は周辺の自然からとられた砂や石である。天草の自然の中で、その風土や資源を学ぶのである。



撮影：古舘克明

展示棟入口から天草を一望する

古谷誠章 (ふるやのぶあき)



1955年 東京生まれ
 1970年 早稲田大学理工学部建築学科卒業
 1980年 早稲田大学大学院修士課程修了
 1980-83年同大学穂積研究室助手
 1983-86年早稲田大学理工学部建築学科助手
 1986年 近畿大学工学部建築学科講師
 1986-87年文化庁芸術家在外研修員として、スイス・ルガーノのマリオ・ボッタ事務所に在籍
 1990年 近畿大学工学部建築学科助教授

主な作品
 「早稲田大学本庄高等学院」「早稲田大学図書館本庄分館・考古学資料館」「狐ヶ城の家」

●中川建築設計事務所(熊本市)

代表者：中川久
 主な作品
 「玉名地域保健医療センター」「山田内科病院」「老人保健施設 光乃里」「住宅金融公庫南九州支店」
 1987年 日本建築士事務所協会連合会大会会長賞

海側の壁面は大きく開かれ 石の造形は自然につながっていく

進行プロジェクト紹介①

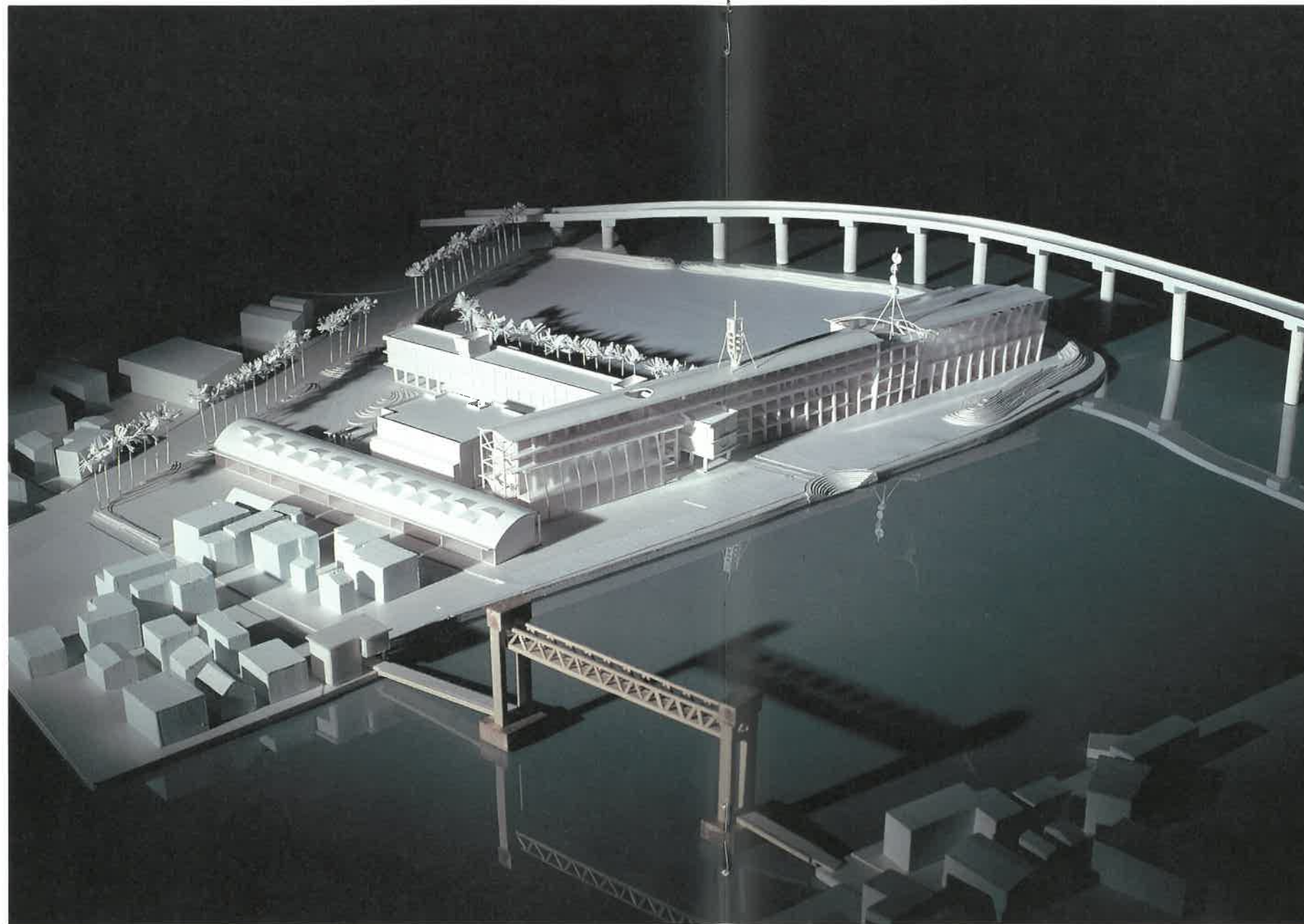
天草工業高校実習棟

設計者 室伏次郎+SDA建築設計事務所

所在地 本渡市

●データ

- 主な用途 工業高校実習棟・体育館
 - 事業主体 熊本県教育庁
 - 構造設計 ジメント
 - 設備設計 アール設備企画
- (5階建実習棟)
- 面積 延床面積6,681m²
 - 構造 鉄筋コンクリート造
 - 主な仕上 屋根：ステンレス溶接工法／外壁：鉄筋コンクリート打放+フツソ塗装、ガラスを多用／内壁：中空コンクリートパネル+フレックスコート、ガルバリウム波板／柱・梁：鉄筋コンクリート打放
- (体育館)
- 面積 延床面積3,813m²
 - 構造 鉄筋コンクリート造+鉄骨造
 - 主な仕上 屋根：ステンレス溶接工法／外壁：鉄筋コンクリート打放+フツソ塗装
- (2階建実習棟)
- 面積 延床面積2,366m²
 - 構造 鉄筋コンクリート造+鉄骨造
 - 主な仕上 屋根：ステンレス溶接工法／外壁：中空コンクリートウォール+フツソ塗装／内壁：中空コンクリートパネル+ウレタン塗装、ガルバリウム波板
- 工事期間 1994年～1998年度（予定）



撮影：藤塚光政

スタディ模型

室伏次郎（むろふしじろう）



1940年 東京都生まれ
 1963年 早稲田大学理工学部建築学科卒業
 坂倉準三建築研究所入所
 1971年 戸尾任宏、阿部勤とアーキビジョン建築研究所設立
 1975年 アルテック建築研究所設立
 1985年 神奈川大学非常勤講師
 1994年 神奈川大学工学部建築学科教授

主な作品
 「大和町の家」「鶴沼ハウス」「北鳥山の家」「板橋の家」「ダイキン オー・ド・シエル夢村」
 1993年 日本建築学会賞

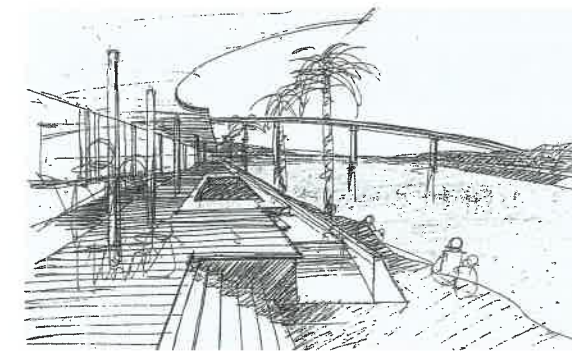
●SDA建築設計事務所

代表者：牧野裕三
 主な作品
 「熊本日産モーター本社（バライソ）」「第一高校体育館、クラブハウス」「八代警察署庁舎」

天草工業高校は天草、本渡市に渡るループ橋「天草瀬戸大橋」の足元海際に位置している。橋上10数メートルから眺め、また本渡港の付け根にあたる景観上重要な位置にある。

設計者はそこで水際の景観形成を考えた。ループ橋をはじめ、可動式の歩道橋など周囲の港らしい構造物と調和して、なお詩情あふれるプロムナードを海際につくった。大きな面をなす海側のファサード（建物の立面）は大型客船のキャビンのように見える。

一方、建物の構成は現在ある教室棟の一部を改修し、新しい建物と連結させることで、敷地内の雰囲気を変化させることを提案している。実習棟及び体育館は大きなガラス面を持ち、風の流れを考慮し、恵まれた自然や景観と一体化した室内環境をつくっている。



プロムナードのスケッチ

現地レポート

室伏氏の講演が本渡市で行なわれた。これは天草工業高校実習棟基本設計の地元での説明会として開かれたものだが、地元建築関係者、市町村議員、一般市民も含めて140名もの聴衆が集まった。

室伏氏はスライドを用いて計画案を説明、建築だけでなく周辺環境の整備と一体化したデザインが必要であることを強調した。

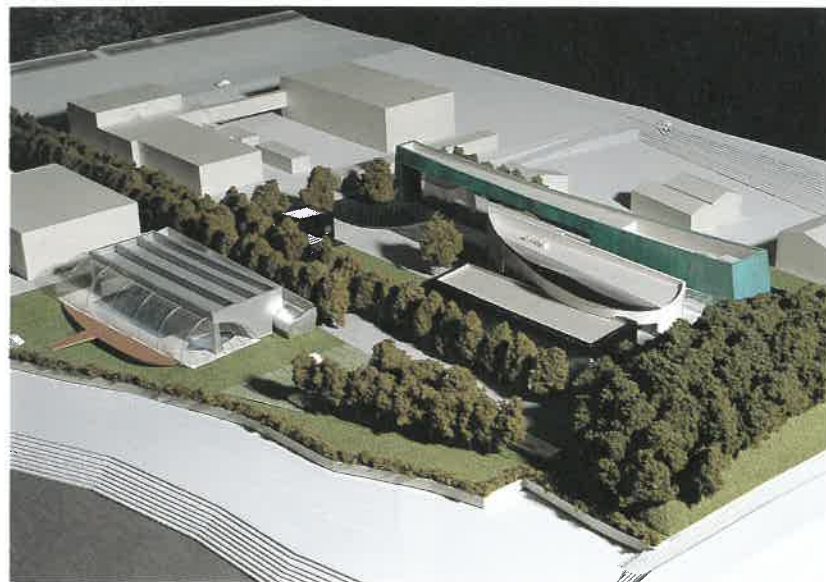


模型も展示され、多くの参加者の興味をひいた

長い透明のファサードは 大客船のように見える

不知火町文化プラザ（仮称）

設計者 北川原温+伊藤建築事務所
所在地 不知火町



スタディ模型

不知火町役場と隣接して計画される図書館と美術館を中心とする町民の文化施設である。設計者はまず新しいアプローチ（建物への進入路）として「緑のプロムナード」を提案した。これは従来の町役場の脇を通り、文化プラザへと至る並木道である。そして次にプラザの後ろの位置に「緑の杜」を提案した。これは平坦な不知火町にあって、町のシンボルとしての杜となることを願って考えられたものであるが、同時に背後の鉄道の騒音を遮断するものでもある。施設はこの軸を中心として中央広場奥に東西の帯状に図書館、交流館、美術館と機能別にえりわけられている。また次期計画としてプール棟が既設の体育館と武道館に並んでつくられる。このように広場やランドスケープと一体化した建築としてデザインされている。

●データ

- 主な用途 図書館・美術館・屋内温水プール・広場
- 事業主体 不知火町
- 面積 敷地18,244m²／建築面積4,150m²／延床面積3,354m²
- 規模 地上2階
- 構造 鉄筋コンクリート造+鉄骨造
- 主な仕上 (図書館) 屋根：アスファルト防水/外壁：御影石本磨t25乾式工法、アルミFBルーバー/床：ブロックカーペット/壁・天井：クロス貼の上EP、吸音クロス
- (美術館) 屋根：コンクリート直押金ゴテ/外壁：緑青銅板0.4ハゼブキ、フッ素樹脂鋼板パネルt1.6/床：石灰岩t30/壁・天井：ギャラリークロス、耐熱対候中空ポリカーボネイト板
- (文化交流館) 外壁：御影石ジェットパーナー仕上、アルミスパンドレル/床：ブロックカーペット、ナラフローリング/壁・天井：クロス貼の上EP、吸音クロス

北川原温（きたがわらあつし）

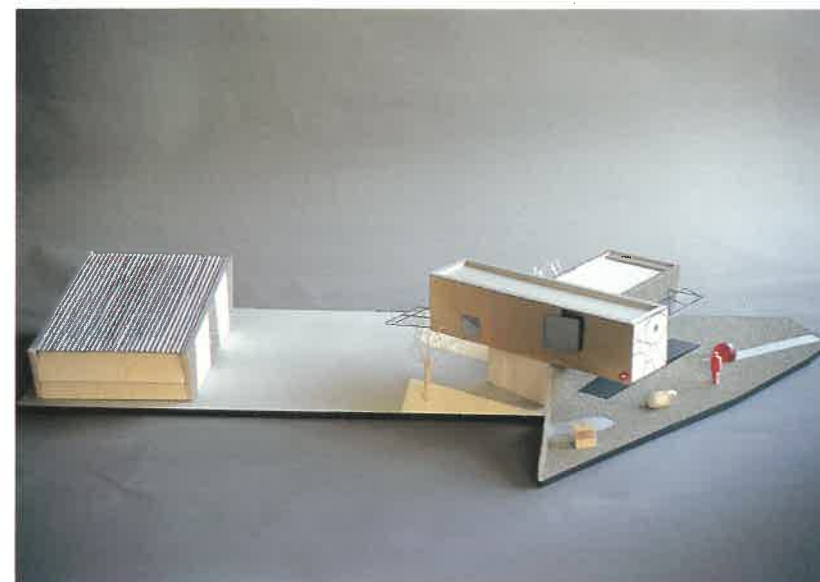


1974年 東京芸術大学美術学部建築科卒業
1974-76年 丹下健三都市建築設計研究所嘱託
1977年 東京芸術大学大学院修士課程修了（建築計画専攻）
1977年 北川原環境建築設計事務所専務取締役
1982年 IICD設立
主な作品
「メトロサ」「ガラ」「ジィ・インターナショナル」「バサラ」「ファウスト」
1976年 第4回日本建築士会作品展最優秀賞（K氏邸）

●伊藤建築事務所
代表者：伊藤琢二
主な作品
「熊本県労働金庫本店」「医療法人聖十字会西日本病院」「延藤プロジェクト（熊本大学建築学科延藤研究室）…森の家、もやい住宅・Mポート」
1988年、89年くまもと景観賞奨励賞
1990年くまもと景観賞さわやか街かど賞
1986年、89年、92年熊本市優秀建築物

熊本北警察署坪井交番

設計者 マニユエル・タルディッツ+加茂紀和子
所在地 熊本市坪井町



スタディ模型

●データ

- 主な用途 交番、倉庫
- 事業主体 熊本県警察本部
- 構造設計 五十嵐純一（影象社）
- 設備設計 木村設備設計事務所
- 面積 敷地面積647.4m²／建築面積189m²／延床面積192m²
- 規模 地上2階
- 構造 鉄筋コンクリート造、鉄骨造
- 主な仕上 外部：コンクリート打放し+豆砂利洗い出し、モルタル金ゴテ+ゴールドメタリック塗装
- 工事期間 1994年10月～1995年3月

坪井町の交差点に建つ交番である。建物は直方体が直交するような構成がとられている。一階部分の壁は黒い豆砂利の洗い出しで、道路境界からセットバックして（引っ込んで）道路と一体化している。小さなパブリックスペースとして、街の人びとに開放されるとともに、交通情報など警察からのインフォメーションを発信する場となる。一方、この方向に直交する形でのせられた2階部分は金色の箱で車やバスからもよく認識できる標識のような効果を発揮する。交番の目的と周辺環境に対するデザインが建物のボリュームを決めているのである。坪井町の新しいランドマーク（目印）となることが期待される。建物背後にはハナミズキなどが植樹され、駐車場、車庫、さらにその奥に倉庫が配される。

マニユエル・タルディッツ+加茂紀和子(かもきわこ)



●マニユエル・タルディッツ
1959年 パリ生まれ
1984年 ユニテ・ベタゴシックNO.1卒業
1988年 東京大学建築学科大学院修士課程修了
1988-92年同大学院博士課程
1992年 セラヴィ・アソシエイツを共同設立
1993年 芝浦工業大学非常勤講師
1994年 インテリアセンタースクール講師



道路から交番を見る

●加茂紀和子
1962年 福岡県生まれ
1987年 東京工業大学建築学科大学院修士課程修了
1987-91年久米建築事務所設計室勤務
1992年 セラヴィ・アソシエイツを共同設立

インフォメーション

くまもとアートポリスにまつわるエピソード、プロジェクト周辺の話などを本誌上で取り上げていきます。読者の皆様のご寄稿をお待ちしています。くまもとアートポリスに関するご意見、ご感想もお寄せ下さい。
 ●くまもとアートポリス事務局：熊本県土木部建築課内 熊本市水前寺6-18-1
 tel: 096-383-1111 (内線6215) fax: 096-384-9820

「アートポリスを考える会」事務所が開設される積極的な活動拠点に。



熊本市内の建築関係者で今年4月に結成された「くまもとアートポリスを考える会」(八木龍平代表幹事)が11月16日、熊本市水前寺6丁目に事務所を開設、活動拠点を確保しました。この事務所開きに、アートポリス参加事業の天草工業高校実習

棟の設計を担当している建築家の室伏次郎氏(神奈川大学教授)が出席、設計案のスライド上映を交えた講演が行なわれました。「くまもとアートポリスを考える会」は、アートポリスに積極的に提言を行なうと

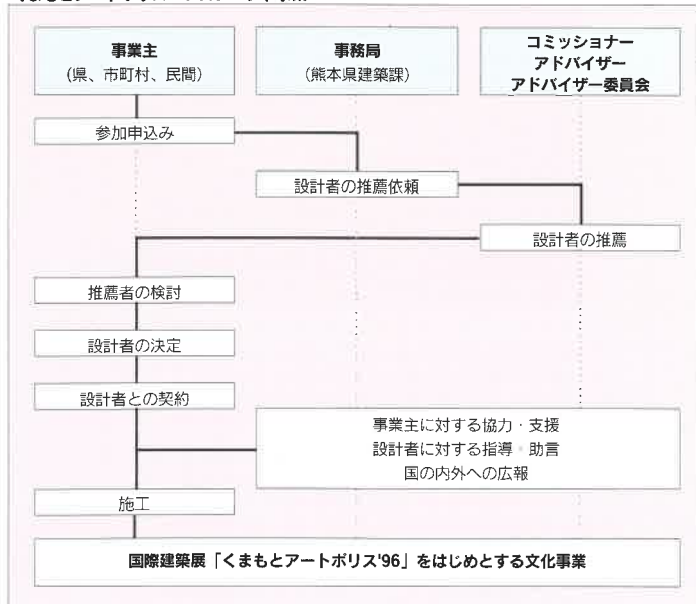
共に事業を紹介し、幅広い県民運動に広げようと設立されたもので、会員は現在、法人・個人合わせて77人です。新しく開設された事務所は、民間によるアートポリス推進拠点であり、模型展示やまちづくり関係者の会議室として開放されます。事務所開きには、八木代表幹事やアートポリス・アドバイザーの堀内清治熊本工業大学教授ら約60人が出席、県民による活動拠点の誕生を祝いました。同会は、一般市民の方々にも活動の輪に加わってもらい、将来は財団化を目指されています。新しい民間拠点の活発な展開が大いに期待されます。

●事務所所在地：熊本市水前寺6丁目10-29 第3スタービル2階
 tel: 096-385-8655

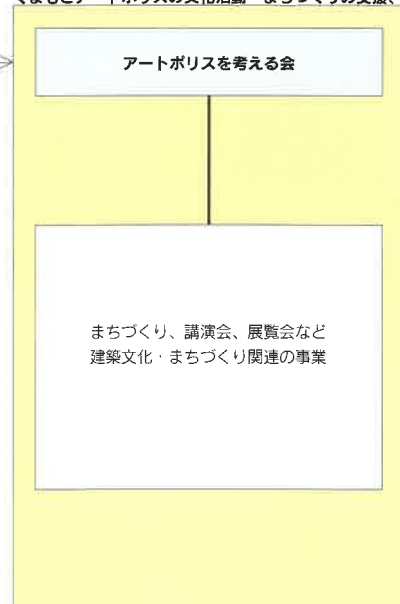
幅広く根付く「くまもとアートポリス」活動の組織

「くまもとアートポリス」事業は、県民の積極的なまちづくりと協力してより大きな運動に育ってきています。「アートポリスを考える会」はそのひとつ。さまざまな文化活動をすすめていきます。

くまもとアートポリス・プロジェクト事業



くまもとアートポリスの文化活動・まちづくりの支援、推進



KAPはいろいろな賞を受賞しています。

アートポリスが今までに受賞した数々の賞をまとめました。

- 1990年 **グッドトイレ10**
 熊本市花畑パークトイレ (受賞者：熊本市/設計：大塚豊一)
- 1991年 **くまもと景観賞**
 八代市立博物館未来の森ミュージアム (受賞者：八代市・伊東豊雄・竹中工務店+和久田建設+米本工務店ほか/設計：伊東豊雄)
 湯の香橋 (受賞者：芦北町・岸和郎・日本ピーエスコンクリート+平田電気工事店/設計：岸和郎)
全国警察施設設計コンクール企画賞
 熊本北警察署 (受賞者：熊本県警察本部/設計：篠原一男+太宏設計事務所)
公共の色彩賞・環境色彩10選
 熊本市花畑パークトイレ (受賞者：大塚豊一/設計：大塚豊一)
- 1992年 **毎日芸術賞**
 八代市立博物館未来の森ミュージアム (受賞者：伊東豊雄/設計：伊東豊雄)
全建賞
 熊本県宮帯山A団地 (受賞者：熊本県/設計：新納至門)
新日本建築家協会新人賞
 再春館レディースレジデンス (受賞者：妹島和世/設計：妹島和世)
グッドトイレ10
 TOTO AQUOPIT ASO (受賞者：熊本県/設計：木島安史)
日本文化デザイン賞
 熊本市宮帯新地団地A (受賞者：早川邦彦/設計：早川邦彦)
- 1993年 **日本建築学会文化賞**
 くまもとアートポリス事業 (受賞者：熊本県)
第34回建築業協会賞
 八代市立博物館未来の森ミュージアム (受賞者：八代市・伊東豊雄・竹中工務店+和久田建設+米本工務店/設計：伊東豊雄)
第1回アーキテクチャ・オブ・ザ・イヤー
 熊本北警察署 (受賞者：篠原一男/設計：篠原一男)
 八代市立博物館未来の森ミュージアム (受賞者：伊東豊雄/設計：伊東豊雄)
 熊本市宮帯新地団地A (受賞者：早川邦彦/設計：早川邦彦)
1993年度日本文化デザイン賞大賞
 くまもとアートポリス (受賞者：磯崎新/コミッショナー：磯崎新)
いらか賞
 清和文楽館 (受賞者：石井和紘/設計：石井和紘)
- 1994年 **日本建築学会賞**
 熊本市宮帯新地団地A (受賞者：早川邦彦/設計：早川邦彦)
 熊本県草地畜産研究所 (受賞者：トム・ヘネガン+インガ・ダグフィンスドッター+古川裕久/設計：トム・ヘネガン+インガ・ダグフィンスドッター+桜樹会・古川建築事務所)
林野庁長官賞
 清和村文楽館 (受賞者：清和村/設計：石井和紘)
グッドデザイン施設選定
 熊本県草地畜産研究所
照明普及賞(照明学会九州支部)
 白川橋 (受賞：藤江和子/設計：藤江和子)
第4回松井源吾賞
 石内ダム資料館 (受賞者：今川憲英(構造設計)/設計：入江経一)
アーキテクチャ・オブ・ザ・イヤー
 石内ダム資料館 (受賞者：入江経一/設計：入江経一)

くまもとアートポリス関連出版物の紹介

- くまもとアートポリスニュース・バックナンバー
第1号 ●「建築革命」を熊本から一蹴崎新●参加プロジェクト紹介
第2号 ●KAP参加プロジェクト特集
第3号 ●三角港フェリーターミナル完成へ●三角港あれこれ・明治の建築文化●県宮帯山A団地設計コンペ入賞者発表速報
第4号 ●八代"ある"まちづくり●熊本市営団地設計建築家・緒方理一郎氏逝く●くまもとアートポリス参加建築家に聞く・トム・ヘネガン・アンド・インガ・ダグフィンスドッター
第5号 ●熊本北警察署完成・計画関係者に聞く●くまもとアートポリスプロジェクト・ドキュメント
第6号 ●速報/八代市博物館未来の森ミュージアム完成へ●ドキュメント・くまもとアートポリスプロジェクト「産山村花の交流館」●くまもとアートポリス参加建築家に聞く・妹島和世●竣工プロジェクト紹介
第7号 ●くまもとアートポリス参加建築家に聞く・安藤忠雄氏●ドキュメント・湯の香橋「湯の町」に根付く●竣工プロジェクト紹介
第8号 ●くまもとアートポリス参加建築家に聞く・石井和紘氏●くまもとアートポリス92実行委員会設立
第10号 ●くまもとアートポリス92全報告
第11号 ●新規完成プロジェクト特集●くまもとアートポリス参加建築家に聞く・藤江和子氏
第12号 ●くまもとアートポリスニュース「こども版」
第13号 ●「くまもとアートポリス・シンポジウム in 牛深」報告●牛深の町に建設が進むプロジェクト2題：牛深漁港連絡橋、牛深水産観光センター●完成・進行プロジェクト紹介：熊本市宮帯新地団地C、県宮帯蛇平団地、花の温泉館、熊本市宮帯麻団地ほか



くまもとアートポリスニュース12号こども版

- くまもとアートポリス関連出版物
くまもとアートポリス・ガイドブック
 プロジェクト別に写真・データ・設計者プロフィールを紹介/1,500円

くまもとアートポリス92ガイドマップ
 プロジェクトのガイドマップ/300円

くまもとアートポリス1992ビデオ
 カラー/60分/3,800円

くまもとアートポリス・プロジェクトガイド

くまもとアートポリスのこれまでに竣工・完了したプロジェクト、そして現在進行中のプロジェクトを一覧に集めました。竣工プロジェクトには、これから作品を見に行かれる方のために住所などのデータを掲載しました。巻末の地図と併せてご利用ください。

- 

1 熊本北警察署
篠原一男+太宏設計事務所…警察署…9010
熊本市草葉町5-13…熊本交通センターからバス「白川公園前」下車…内部見学、写真撮影は要許可、バス駐車不可…熊本北警察署警務課 096-323-0110
- 

2 県営保田窪第一団地
山本理顕…集合住宅…9112
熊本市帯山1-28…熊本交通センターからバス「上保田窪」下車…外観のみ見学可、駐車不可、中庭は入れません
- 

3 加久藤トンネル換気所
小山明+パシフィックコンサルタンツ…トンネル換気施設…8908
熊本県人吉市大畑町、宮崎県えびの市東川北…国道221号線加久藤トンネル脇…外観のみ見学可
- 

4 三角港フェリーターミナル
葉祥栄…旅客待合所…9003
三角町大字三角浦…JR三角駅前…7:30~19:30
- 

5 八代市立博物館未来の森ミュージアム
伊東豊雄…博物館…9110
八代市西松江城町12-35…JR八代駅からバス「法務局・博物館前」下車…9:00~17:00…月休…入場300円（常設展）…0965-34-5555
- 

6 熊本市花畑パークトイレ
大塚豊…公共トイレ…8910
熊本市花畑6…熊本交通センター前、花畑公園内…近隣に駐車場あり
- 

7 熊本市上江津湖畔トイレ
日田兆…公共トイレ…8905
熊本市神水本町16-11…JR熊本駅から市電「八丁馬場」下車
- 

8 熊本市営新地団地A
早川邦彦…集合住宅…9107
熊本市清水町新地…熊本交通センターから新地団地行きバス「新地団地」下車…外観のみ見学可、駐車不可
- 

9 熊本市営新地団地B
緒方理一郎…集合住宅…9203
熊本市清水町新地…熊本交通センターから新地団地行きバス「新地団地」下車…外観のみ見学可、駐車不可
- 

10 熊本市営新地団地C
富永譲…集合住宅…9311
熊本市清水町新地…熊本交通センターから新地団地行きバス「新地団地」下車…外観のみ見学可、駐車不可
- 

11 熊本市営新地団地D
西岡弘…集合住宅…一部竣工
熊本市清水町新地…熊本交通センターから新地団地行きバス「新地団地」下車…外観のみ見学可、駐車不可
- 

12 熊本市営新地団地E
上田憲二郎…集合住宅…一部竣工
熊本市清水町新地…熊本交通センターから新地団地行きバス「新地団地」下車…外観のみ見学可、駐車不可

- 

13 県道橋景観整備 (基礎調査)
倉俣史朗+高木富士川計画事務所…完了
- 

14 熊本市営託麻団地
坂本一成+長谷川逸子+松永安光…集合住宅…9404
熊本市新南都町33…熊本交通センターからバス「託麻団地入口」下車…外観のみ見学可、駐車不可
- 

15 光のまちづくり (まちづくり構想)
岩崎敬+瀬口英徳…構想完了
山鹿市
- 

16 牛深漁港連絡橋 (工事中)
レンゾ・ピアノ+ピーター・ライス+岡部憲明+マエダ…臨港道路
牛深市
- 

17 県営帯山A 団地 (公開コンペ)
新納至門…集合住宅…9203
熊本市帯山1-23…熊本交通センターからバス「上保田窪」下車…外観のみ見学可、駐車不可
- 

18 五名市文化施設構想
豊田文生…構想完了
五名市
- 

19 湯の香橋
岸和郎…遊歩橋…9105
芦北郡芦北町湯浦…JR湯浦駅からバス「湯浦橋」下車…夜間照明 19:00~22:00
- 

20 清和文楽館
石井和統…文楽劇場+展示館…9203
上益城郡清和村大字大平原152…熊本交通センターから馬見原行きバス「清和文楽村」下車…9:00~17:00…月休…入場400円（常設展）1200円（講演時）…定期講演：2・4日曜…0967-82-3001
- 

21 県立後飾古墳館
安藤忠雄…歴史資料館…9203
鹿本郡鹿本町岩原3085…山鹿産交バスターミナルから車…9:30~17:00…月休…入場400円…0968-36-2151
- 

22 球磨工業高校伝統建築実習棟
象設計集団…工業高校実習棟…9103
人吉市城本町800…JR人吉駅から徒歩…見学・写真撮影は要許可…0966-22-4189
- 

23 鮎の瀬大橋 (工事中)
大野美代子+中央技術コンサルタンツ…橋梁
上益城郡矢部町
- 

24 公園ファニチャーデザイン、同整備マニュアル (構想)
沖健次+東京ランドスケープ研究所…完了

- 

25 松島町合津終末処理場管理棟
斎藤宏…管理棟…9303
天草郡松島町大字合津4276-387…JR三角駅から松島行きバス「松島バスターミナル」下車…見学・写真撮影要許可…1969-56-3195
- 

26 石打ダム管理所
青木茂…ダム管理事務所…9102
宇土郡三角町中村…JR石内ダム駅から徒歩1.5km…外観のみ見学可
- 

27 県営新渡鹿団地
小宮山明…集合住宅…9303
熊本氏渡鹿3-854-1…熊本交通センターから戸島（一本木）行きバス「渡鹿7丁目」下車…外観のみ見学可、駐車不可
- 

28 大津町第二庁舎・県民交流施設 (構想)
鈴木了二…設計完了
大津町
- 

29 玉名天望館
高崎正治…展望・学習コミュニティ室…9209
玉名市大倉字桃田1144…熊本交通センターから玉名、荒尾行きバス「玉名大橋口」下車…玉名市都市計画課 0968-75-1122
- 

30 大甲橋景観整備 (構想)
倉俣史朗…橋梁…設計完了
- 

31 草地畜産研究所畜舎
トム・ヘネガン+インガ・ダクフィンズ+トッター+桜樹会、古川建築事務所…畜産研究施設畜舎…9209
阿蘇郡阿蘇町大字西湯浦…JR阿蘇駅より車…外観のみ見学可
- 

32 再春館レディースレジデンス
妹島和世…女子社員寮…9108
熊本氏帯山4-323-1…熊本交通センターからバス「保田窪本町」下車…外観のみ見学可…再春館製菓所総務課 096-384-5555
- 

33 県立美術館分館
エリマス・トーレス+ホセ・A・M・ラベニア+大和設計…美術館…9210
熊本市千葉町2-2…9:30~18:30（土・日など17:00まで）…熊本交通センターから徒歩10分…月休…駐車不可…096-351-8411
- 

34 湯前まんが美術館・公民館
桂英昭+AIR…美術館+公民館…9211
球磨郡湯前町字上牧原1834-1…くま川鉄道湯前駅から徒歩…9:00~17:00…月休…入場料：300円（大）100円（小中）…0966-43-2050
- 

35 県営竜蛇平団地
元倉真琴…集合住宅…9402
熊本市帯山3-1…熊本交通センターからバス「東水前寺」下車…外観のみ見学可、駐車不可
- 

36 つなぎ物産ギャラリー
北山孝二郎…物産センター+公園…9206
芦北郡津奈木町岩城1601…JR津奈木駅よりバス「竹中」下車…10:00~18:00…水休…道向かい文化センターに駐車場あり…0966-78-2000
- 

37 教会の見えるチャペルの鐘展望公園
梅田正徳+スペースデザイン…公園…9303
天草郡河浦町崎津…本渡バスターミナルから牛深行きバス「一町田中央」下車、富岡行きに乗り換え「教会入口」下車…河浦町役場企画調整室 09697-6-1111

- 

38 花の温泉館
ワークショップ…温泉センター+温室…9312
阿蘇郡産山村…JR宮地駅から車…10:00~21:00…第1・3・5火休…入浴500円…0967-25-2341
- 

39 TOTO AQUAPIT ASO (公共トイレ)
木島安史…公共トイレ…9203
阿蘇郡白水村山上広場…阿蘇山口ロープウェイ阿蘇山西駅前
- 

40 白川橋景観整備
藤江和子…橋梁…9211
熊本市二本木…JR熊本駅より徒歩
- 

41 杖立橋 (工事中)
新井清一…歩道橋+公共広場
阿蘇郡小国町
- 

42 石打ダム資料館
入江総一…資料館…9304
宇土郡三角町中村字久保…JR石内ダム駅から徒歩1.5km…9:00~17:00…月休…0964-54-1191
- 

43 天草ビジターセンター・天草展望休憩所
古谷誠章+中川建築設計事務所…博物展示施設・休憩所…9407
天草郡松島町永浦島…熊本交通センターから産交バス本渡行き快速で約100分「橋合入口」下車徒歩100m
- 

44 牛深水産観光センター (工事中)
内藤廣…物品販売・展示・待合室・レストラン・視聴覚室など…
牛深市牛深町
- 

45 不知火町文化プラザ (設計中)
北川原温+伊藤建築事務所…図書館・美術館・温水プール・広場
宇土郡不知火町
- 

46 馬見原橋 (工事中)
青木淳+中央技術コンサルタンツ…橋梁
阿蘇郡蘇陽町
- 

47 天草工業高校実習棟 (設計中)
室伏次郎+SDA建築設計事務所…工業高校実習棟・体育館
本渡市
- 

48 熊本北警察署坪井交番 (工事中)
マニユエル・タルディッツ+加茂紀和子…交番
熊本市坪井町
- 

49 泉村産業振興センター (設計中)
武田光史+ロゴス設計同人…物産館・視聴覚センター
泉村

凡例
番号 プロジェクト名
設計者…主な用途…竣工年月
住所…行き方…開館時間、休日、入場料など…連絡先

※なお、見学の際は、建物所有者、居住者および周辺の居住者に迷惑のかからないよう十分注意してください